



犬も家族の一員。その大事な命を預かっています

老犬ホーム ぱーとなー 代表
なかしま たつや
中島 達也さん

ヨイショ!ヨイショ!
なにして遊ぼうかな



動物愛護と 適正飼育

特集

犬や猫も、 家族の一員

私たち人間のパートナーとして、古くから生活を共にしてきた犬や猫。今回は県内の譲渡施設や老犬ホームを紹介しながら、動物愛護や適正飼育について考えます。

これまでに譲渡された犬猫たちは新しい家族と幸せな生活を送っています



譲渡先の家族からの手紙も閲覧できます

ここで犬猫たちに触れ合ってみませんか

いっしょけんね スタッフ
もりた かずのり
森田 和典さん



犬、猫を新しい家族へ。 「いっしょけんね」

犬や猫を飼うと、愛らしい表情や仕草で毎日が楽しくなります。でもその一方で心ない飼い主による捨て犬・捨て猫の問題もあります。2015年3月、県では保護した犬猫を新たな飼い主に譲渡する施設「いっしょけんね」を武雄市に開設。「いつも一緒だよ。」との願いが込められた明るい雰囲気の中で、誰でも犬猫と触れ

合える場所です。スタッフの森田さんにお話を伺いました。「以前、下半身不随の子犬が保護されたので、犬用車いすを手づくりしたんです。その車いすを使って、子犬が元気に走りまわる姿を見たときは本当にうれしかったですね。しかも飼い主さんも見つかった、二重に喜びを感じました。」月に1〜2回は、獣医師による健康診断を行い、予防接種やしつけも行われています。ふるさと納税などの寄付も貴重な財源となっているので、保護された犬猫の譲渡数は毎年数百件にのぼります。

また、猫の殺処分ゼロを目指した取り組みも始めています。子猫は保護されたときにミルクを飲む力がなかったり、病気がかかっていたりして譲渡できない場合が多いとか。そこで職員が子猫を連れて帰って世話をしたり、病気がないか獣医師に診てもらいながら、譲渡できる猫を増やす努力もしています。動物を飼うときに大切なことは、犬や猫の命に責任を持つこと。それを忘れなければ、動物たちを家族として迎える暮らしはきっと笑顔にあふれた豊かなものになるはずです。

「不登校だった子どもが、ここで犬猫と触れ合っているうちにだんだん会話ができるようになったこともあるんです。動物たちには人間の心を癒やす不思議なチカラがあるのかもしれない。」と森田さん。



譲渡している犬や猫を紹介しています。迷子になっている犬や猫もいるかもしれません。ぜひ一度ご覧ください。

facebookで公開中
いっしょけんね

大切にしたい 老犬と人の絆

佐賀県唐津市にある老犬ホーム「ぱーとなー」は、さまざまな理由で飼うことが難しくなった老犬たちを預かり、24時間体制でお世話をしています。

「犬も歳を取ると認知症で夜鳴きしたり、寝たきりになることもあります。子犬の頃は元気いっぱいですが、最後の姿も少しだけ頭に入れて飼ってあげてください。」



飼い主さんが来ると犬たちも嬉しそうに表情になりますし、絆や愛情を感じることが多いです。犬も大切な家族の一員なんだと思います。」と中島さん。老犬の介護を通して、犬と人とのよりよい関係づくりを支えています。

足が動かない犬も、愛情をこめてお世話をしています。寝たきりの犬は2時間に1回の寝返りも



ご存知ですか? 「地域猫活動」

「避妊や去勢手術をする」「ごはんを決まった時間に決まった猫だけに与える」などのルールを地域でつくる取り組み。これにより猫の数が増えず、殺処分を減らすことにつながります。県では、こうした活動を支えるため「猫の適正飼養ガイドライン」を作成したり、「動物愛護ボランティア」の育成講習会や研修会も開催しています。佐賀市や大町町などでは活動のための助成金もあります。

詳しくは [佐賀 猫ガイドライン](#) 検索



お散歩に行こうか!

第35回動物愛護 フェスティバルさが

動物の愛護と適正飼育への理解と関心を深める「動物愛護フェスティバルさが」を今年も開催。子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。

開催日時 平成30年10月21日(日)
10時~15時 少雨決行

開催場所 県立森林公園(佐賀市嘉瀬町)

生活衛生課 ☎0952(25)7077

たくさんのご参加をお待ちしています!

